

第2章 情報企画室図書班

【構成員】

担当教授(兼): 正橋 直哉

図書係長: 堀野 正太 / 図書系職員: 池 美沙子 / 事務補佐員: [2 名]

【図書整備委員会】

委員長 准教授: 野村 健太郎

委員 准教授: 今宿 晋

助教: 前田 健作, 木原 工, 原田 尚之, 尾澤 伸樹, 窪谷 茂幸, 野澤 純, 佐藤 豊人

オブザーバー 教授: 正橋 直哉

総務課長: 千葉 史朗

1. はじめに

図書室は、19 世紀から今日までの材料科学に関する幅広い領域の資料を収集・所蔵し、所内・学内はもとより国内外の研究者に幅広いサービスを提供している。

2. 組織・運営

図書室は事務部総務課に図書係として属するが、情報企画室のもと、図書整備委員会とも連携して運営され、係長を含む職員 2 名と事務補佐員 2 名の体制で業務を行っている。一方、図書整備委員会は所内の若手教員 9 名で構成され、研究者の視点から、図書室へ助言を行うとともに、利用者への広報活動や年度初めに新たに入所した所員向けのオリエンテーション等の実施においても図書室に協力している。このような委員会の存在は、学内他部局にはない本所の特徴と言える。

3. 活動状況

3.1 蔵書管理

①蔵書の充実

図書整備委員および研究室からの図書の推薦や、新刊案内などを参考に、物質・材料科学研究に有意な図書を購入し、蔵書の充実を目指している。また、研究室や研究者が個別では購入しにくいシリーズ本や電子ブックなども必要に応じて購入し、2017 年度は合計 178 点の図書（電子ブック 10 点含む）を購入した。

②蔵書点検

毎年 2 回、蔵書の定期点検を行い、不明図書・発見図書の確認や書架の整備を行っている。2017 年

度は8月1日～3日、2018年1月31日～2月2日に実施し、それぞれ3冊および4冊の不明図書が見つかり、累積の不明図書冊数は80冊となった。図書は共有財産であることから、機会あるごとに貸出手段の徹底や返却期限の厳守を呼びかけていきたい。

3.2 利用者サービスの充実

①利用者向け講習会

・図書室オリエンテーション（2017年4月27日（月）開催、57名参加）

毎年春に金研の新構成員のため、図書整備委員を講師とした主要データベースの講習と、図書室利用案内を組み合わせたオリエンテーションを行っている。

取り上げたデータベース）Alloy Phase Diagrams、CiNii、ICDD、ICSD、Int. Tables for Crystallography、J-PlatPat、KAKEN、Phase Equilibria Diagrams、SciFinder、Scopus、Web of Science

・英語論文執筆ワークショップ（2016年11月7日（金）開催、45名参加）

本所若手研究者（主に助教、PD、DC）を対象に、英語論文の採用率向上のためのスキル等を学ぶ、外部講師による実習をまじえた講習会を実施し、参加者全員から好評を得た。

講師）Mr. William D. Stenson：CEO of FORTE

Mr. Greg Adams：Manager of FORTE's production division

内容）テーマ1：学術論文の執筆、テーマ2：国際学会で発表する

②「金研図書室だより」の発行（2017年4月7日、10月12日発行）

図書室の最新情報の広報と認知度の向上のため、「金研図書室だより」を発行し所内に配布した。

3.3 利用環境・施設の整備

①設備の更新・改善

懸案の閲覧室備付の老朽化した空調機器の更新を行った。また、これまで湿度管理不良が原因でカビが繁殖した1号館215号室書庫の所蔵資料のクリーニングを行い、新たに除湿機を設置した。

②書庫狭隘化への対策

昨年度行った資料の廃棄や共用書庫への移動により書庫の収蔵スペースに余裕ができた。そこで2017年度後半から書庫の整理を行っており、この作業が完了すれば、今後の蔵書充実への備えとなるとともに、図書を2号館2階書庫に集約でき、利便性の向上が期待できる。

4. 今後の課題・懸案等

4.1 不明図書への対策

貸出手続きをせず持ち出される図書が常に一定数あるため、蔵書点検（3.1②）終了の都度、教授会において図書担当教授より注意喚起のアナウンスを行った。新たに不明となる図書が増加し続ける場合にはさらなる対策が必要となる。

4.2 設備の老朽化

閲覧室の空調機器の更新は完了したが、書庫も同様に更新が必要であり、次年度以降も機器更新を進めていく必要がある。

4.3 電子ジャーナル費用

購読タイトル削減や出版社との交渉等の全学的な努力にもかかわらず、本学全体の電子ジャーナル経費は増え続けている。円高により価格上昇が落ち着くこともあるものの高止まりのままであり、依然として予断を許さない状況が続いている。

5. 統計（2017年度）

■施設

総面積	書架総延長	図書収容能力	総閲覧座席数	パソコン台数	複写機台数
534 m ²	2.39km	6.6万冊	50席	6台	4台

■資料

		和書	洋書	合計
蔵書	蔵書冊数	18,746冊	60,658冊	79,404冊
	年間受入冊数	131冊	158冊	289冊
雑誌	雑誌種類数	394種	988種	1,382種
	年間受入雑誌種類数	103種	122種	225種
	電子ジャーナル数(全学)	15種	13,416種	13,431種
	新聞種類数	6種	1種	7種

*蔵書は研究室貸出分や製本雑誌を含む

*「受入」とは購入や受贈した図書を図書室の蔵書として登録すること

■サービス

開室日数 (有人)	サービス対象		入室者	貸出		文献複写		現物貸借	
	教職員	学生		貸出	(うち搬送)	依頼	発送	借用	貸出
237日	320人	204人	12,029人	3,016冊	(1,032冊)	41件	274件	4件	18件
前年度比			2,406人減	444冊減	(82冊減)	48件減	143件減	2件減	3件増

*開室日数は有人の日数のみ

*貸出の「搬送」とは他館より取寄せた図書